

チェルノブイリ事故の直前に生まれ、
日本でウクライナの伝統楽器を弾きながら歌う

カテリーナ さん

カテリーナさんのことは一昨年の猿原人村満月祭で初めて歌を聞かさせてもらったのだが、先日、奈良県橿原市でのウクライナ WEEK で開かれたコンサートのあとインタビューさせてもらった。

人生で2度も原発事故を経験し、現在は日本で暮らすウクライナの歌姫に、チェルノブイリ原発事故で避難生活をしていた子供の頃の話や、日本に来てからのお話を聞かせてもらった。(あ)

イナ語で詩を書いた詩人が捕まったり、そういう歴史がありました。それでウクライナとロシアの戦争が始まる前までは、ウクライナ人でもバンドウーラという楽器を知らない人が多かったです。

—— 福島の猿原人村の祭りによく行ってるようですが、どういうことから行くようになったんですか？

●私はチェルノブイリ原発からわずか2.5kmのところ生まれなんです。原発事故が起きた時、私は生後1ヶ月でした。そしてその原発事故のつながりで10才の時から日本に演奏で来るようになり、行ったり帰ったりして、2006年にまた来てソロ活動を始めて、で、前にチェルノブイリ子ども基金とつながっていた方が、福島の方でもいろんなイベントがあるので行きますか？と言われて、川内村(猿原人)の方にも呼ばれたんです。今年で3回目です。初めて行ったときはびっくりしました。ここでどうして私がやるのかと。(笑) ちょっと不安がありましたけど、2回目、3回目と行くとしづつみなさんと友達になって。

—— チェルノブイリの近くで生まれて、事故のあとどうしたんですか？

●聞いた話によると、すぐ避難して、お父さんお母さんの実家でしばらく暮らしてたんです。そのあと、キエフの避難者用の住宅にうつり、そこで住むようになったんです。今でもママはそこに住んでいます。マンションというか9階建ての建物で、避難した人達だけが住むところなんです。もう33年になります。

—— 日本だと福島原発事故からまだ10年たってないですが、一時的に提供されていた住宅から出て行くと行政側から裁判を起こされたりしていますが、ウクライナではもう33年も住んでるんですか。

●ママの話だと、当時はこの家に住むかわりにパパたちが事故起きる前も原発で働いていたので、事故のあと働いてほしいと。で、パパたちが仕事止めたり亡くなったたりしてから、この家から出てってくださいと言われて始めた。それに家賃を払えないと出て下さいと。続けて住みたいなら家賃を払うしかないんです。

—— カテリーナさんはチェルノブイリと福島の原発事故を両方体験したわけですね。

●残念ながらそうです。311の時は東京にいました。原発の中に少し水が入りましたが特に問題はないと言われてた時に、うちのパパから電話がかかってきて、家族とすぐ違う国に逃げなさいと言われてたんです。でも大丈夫、なにも起こってな

いと言われてますよと言ったら、パパは自分が原発の中で働いてたので、原発の中に少しでも水が入ったらもう危ない、大変なことになると怒られました。私はウクライナからある意味で逃げて日本で生活して、自分の子どもに原発のことを経験させたくないと思っていたのに、自分の人生で2回もそういう事故が起きて、どこに逃げればいい？と思いました。どこかに逃げても、また3回、4回も起きるんじゃないかなと。

—— 小さい頃に鼻血が出てたとHPに書いてましたね。

●6才から学校に行ったら、原発事故からまだ6年7年のとき、なにもなくても、ただ朝起きて顔洗ってる時に、あれ？ってなんか鼻血が出た感じがしてなかなか止まらなかったんです。

だいたい学校の1時間目は遅れたり休んだりしてました。だからさいきんの福島の子たちのそういう情報を見ると、原発事故との関係ないって言われても、いやー私の時もそういうことありまして。じゃあ子どもは全員、原発に関係無く鼻血が出る？っていうのは考えられない。

—— 日本の社会って、鼻血が出たとかそういうことを話すと非難される雰囲気がありますが、ウクライナではそういうことなかったですか？

●私がキエフに避難したときには、もともとそこに生まれて住んでる子たちがいましたので、あの子達(原発事故で避難してきた子ども達)は身体が光ってるとか、触ったらうつるんじゃないかって言われたりして、あんまり友達になれなかったです。避難した子たちには栄養が必要だといって、それに国の方から避難した子たちには1kgのパナナとか牛乳とかがプラスされたんです。で、元々いい子たちから見たら、え？なんで？て。うらやましいというより、私たちはここでふつうに静かに勉強してたのに、いきなりワケわからない子たちが来て、いろんなもの贅沢にももらってたりしてたわけで、だからコミュニケーションとるのは大変でした。

★カテリーナさんのHP
バイオグラフィー、LIVE 予定、CD 案内など
<https://www.kateryna-music.jp/>
★CD「Banduriste」
NCPT-1001 / ¥2,000 / 全12曲



Logo:Noiri

—— 日本の方と結婚して子どもさんもおられるようですが、日本語が上手ですね。それなりに話せる外国の方は多いですが、日本語を書いたり読んだりするのは難しいですか？

●難しいです(笑)。でもこういう活動をしている以上、ある程度自分で書いたり読んだりやりとりをしないと、頑張りたくても活動できません。それで今はホームページの写真を代えたり情報載せたり、インターネットは全部自分でやっています。試行錯誤しながらホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどを自分でつくっています。それも日本語のページとウクライナ語のページがあり、SNSは移動の時に主にやっています。

—— 日本に来たのはいつからですか？

●2006年12月から来て、2007年1月から学生ビザで日本語の学校に2年間通いました。

—— ときどきウクライナに帰るんですか？

●さいきんでは3年前に帰りました。ママはいま田舎に一人で住んでいて駅に行くのも遠いので、TVの番組から話しがあつたときに日本の何かをプレゼントしたいと思って、電動自転車をプレゼントすることにしました。(そのプレゼントを持って取材するという話しが番組からあつた。)そのあとママを日本に呼んで、ママも日本が好きになって、年に2回くらい日本に来るようになってます。

—— 演奏中にバンドウーラの説明をされてましたが、政府公認のバンドウーラ奏者という制度があるそうですね？

●昔はありましたが今はないですね。昔は珍しい楽器で弾いてる奏者も少なかったんです。さらにスターリン時代に何百人ものバンドウーラ奏者、それは目の不自由な男性の方たちですが、スターリンは世界にウクライナの文化を発信してほしいと言ったから、ウソのコンサートをやるって集めて、電車に乗せられて連れて行かれ、その何百人の方が殺されてしまい、彼らのバンドウーラも壊されました。それにウクラ

↑2019.9.15 奈良県橿原市・かしはら万葉ホールにて。

